

不法投棄ゼロを目指して 不法投棄防止活動

10月30日、町内一帯で、不法投棄防止等合同監視パトロールおよび不法投棄撤去作業が行われ、熊本県建設業協会八代支部など各種団体より、130人の参加がありました。
参加者たちは町内一帯の監視パトロールや、若洲地区の堤防沿い、ひろぎ遊水池、立神峡公園を中心とした不法投棄の撤去作業を行い、撤去されたごみの量は、可燃ごみ約500キ、瓶・缶類が180キ、そのほか不燃物が450キにもなりました。
パトロールで確認された不法投棄物もあり、今後、不法投棄防止に向けた環境づくりが期待されます。



▲不法投棄物を撤去する参加者

稲刈り・脱穀がんばりました 竜北東小生徒が農作業体験

11月5日、竜北東小学校に隣接する農地において、5年生が農作業体験を行いました。
これは、農作業の体験を通して、「食」と「農業」に対する知識と関心を深めることを目的に、授業の一環として毎年行っているものです。
生徒たちはJAやつしろの宮本さんから、稲の刈り方などを教わった後、それぞれ別れて作業を行いました。
ほとんどの生徒たちは、初めての体験のようにでしたが、上手に稲刈りをすることができました。
この日は、足踏み脱穀機を使つての脱穀も行い、貴重な体験となりました。



▲刈取りの説明を熱心に聞いています



▲稲刈り開始です



▲刈取りました!



▲脱穀、上手にできるかなあ

統計調査への貢献に感謝 統計調査員に感謝状および表彰状

10月18日、経済産業省所管統計調査功労統計調査員に対する感謝状が、上田みどりさん(桜ヶ丘)に、11月7日、熊本県統計功労者表彰の熊本県統計協会会長賞が、氷川町登録調査員の園田孝子さん(新田)に、それぞれ贈呈・授与されました。
【お二人のコメント】
「大変うれしく思います。これまで続けてこれたのは、皆さまが調査に、気持ち良くご協力いただいたおかげです」(上田みどりさん)
「光栄です。いろんな方々と出会い、皆さまに信頼していただき、スムーズに調査ができることを、うれしく思います」(園田孝子さん)



▲左から園田孝子さん、上田みどりさん

芸術の秋 氷川町文化の祭典

第9回 氷川町文化祭

11月3・4日、第9回氷川町文化祭が行われました。
3日に氷川町公民館多目的ホールで行われた芸能の部では、町内の保育園・幼稚園・小中学校や各種団体・個人により、吹奏楽・太鼓などの演奏、太極拳、ダンス、日舞、コーラスなどが披露され、日頃の練習の成果に、会場からは大きな拍手が送られました。
2日間にわたり、宮原体育館で行われた作品展示では、趣向を凝らした絵画や陶芸、書道などの作品が並べられ、訪れた人たちは熱心に鑑賞されていました。
また、まちづくり酒屋では囲碁大会が行われ、町内外の参加者により、熱戦が繰り広げられました。

